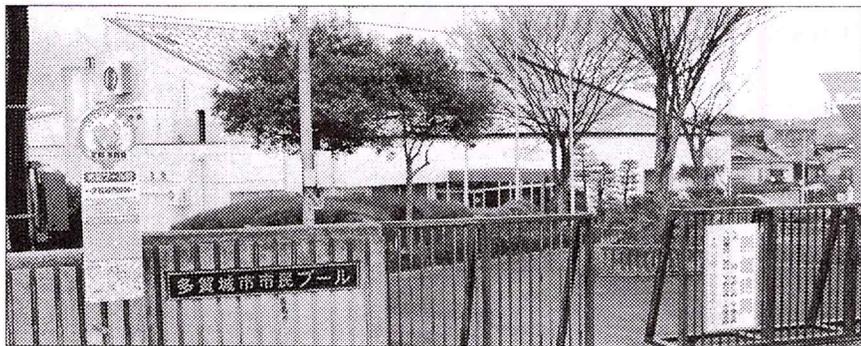


「プール料金にシルバー料金を設定します」

— 2/23 戸津川晴美市議の一般質問に、教育長が答弁 —



市長「消えかかっているプール前の横断歩道、入学式前には…」

23日、日本共産党の戸津川晴美市議は(1)「市民プールの利用促進について」

(2)「交通環境の整備について」取り上げました。

(1)について戸津川市議は、「水中での運動は、高齢者の健康維持と介護予防に大変有効であり、より多くの高齢者に市民プールを利用いただくために①高

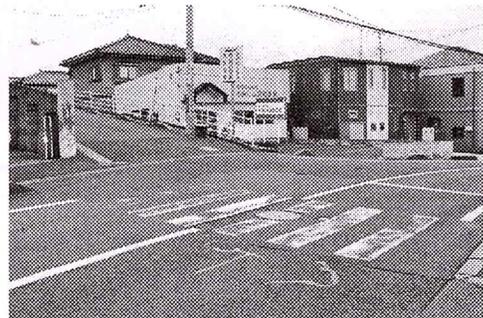


戸津川はるみ 市議

議は市長に次のように質しました。

①「バス停へのベンチの設置は駅前だけでなく、交通の妨げにならないバス停には設置していただきたい。特に市民プールのバス停には設置を急いで欲しい」

②「自動車等免許証の返上者に補助をする件について以前も取り上げてきた。他自治体にもならない、多発する高齢者による交通事故の防止対策として、自動車等免許証の返上にご協力いただいた方に対し、バス券またはタクシー券等の補助をさせていただきますか」



するよう、関係機関に働きかけるべきだ」

市長は③については、「私も毎日歩いており、危険と承知している。入学式前には修復するよう強く県に申し入れる」と答えました。

③「多賀城小学校入り口の横断歩道等の白線は消えかかっており、ほとんど見えない状態だ。子どもたちや、住民の安全確保のため、一日も早く、白線の修復を

③「多賀城小学校入り口の横断歩道等の白線は消えかかっており、ほとんど見えない状態だ。子どもたちや、住民の安全確保のため、一日も早く、白線の修復を

③「多賀城小学校入り口の横断歩道等の白線は消えかかっており、ほとんど見えない状態だ。子どもたちや、住民の安全確保のため、一日も早く、白線の修復を

③「多賀城小学校入り口の横断歩道等の白線は消えかかっており、ほとんど見えない状態だ。子どもたちや、住民の安全確保のため、一日も早く、白線の修復を

図書館をめぐる議論

3月21日の新多賀城市立図書館の開館を間近にひかえ、22～23日の一般質問では数名の議員が図書館問題をとりあげました。

「CCCは障がい者サービスについてマニュアルをもっているか」と問われた教育長は「マニュアルはないが研修をして開館に備える予定」と答えました。さらに「仙台市立図書館には玄関から総合カウンターまで点字ブロックがあるが…」と問われ「100%とはいえない」と事実上設けないことを表明しました。

また「性的少数者も気持ちよく利用できるように、図書館利用申込書から性別欄の削除を」「図書館の利用券に通称名も使用できるようにすべきだ」と問われ(よそではすでに実施している図書館もあります)教育長は「それは市全体の問題」と、図書館独自には検討しないことを表明しました。

またこれまで教育長は「新図書館長予定者は司書資格のある方」と再三議会で答えていましたが、22日の一般質問で「司書教諭である」ことを初めて明らかにしました。どういう事情や意図でそういう説明をしてきたかは不明です。

これらは江口、米沢、藤原各市議に答えたもの。

点字ブロックは設けない／館長予定者は司書を撤回

第1046号 2016年2月26日

日本共産党 多賀城市議団 多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号 代表(364)3222 FAX(309)3910

◇弁護士による法律相談

◇申込 電話で予約して下さい。◇電話 364-3222 ◇相談日 3月8日(火) 3月18日(金) ◇時間 午後1:30～ ◇場所 旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による暮らしの相談

電話 藤原益栄議員 368-6623 070-6497-6623 佐藤恵子議員 367-0182 090-2027-9884 戸津川はるみ議員 090-7528-2075 中田さだゆき議員 368-1338 080-1802-3524 柳原きよし前議員 368-1883 090-2605-4984

東風城月

日本共産党員作家・小林多喜一の命日である2月20日、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟塩釜支部主催による学習会とついであった。斎藤規夫さんがなぜこの時期かを語った▼「この地域で日本共産党の礎を築いた坂病院二代院長の坂猶興先生の命日が2月26日。その顕彰の意味を込めて」。前日19日は経済学者で党幹部・野呂栄太郎の命日。この時期のついでに開催に改めて納得した▼多喜一と野呂について加藤文三さんが『昭和史感時記』で書いている。「この二人の天才は、梅の花のよつな芽はしい香りをのこして、革命に青春を捧げた。二人は紅梅と白梅になぞらえてよい。紅梅と白梅の間からは、革命的精神の大河が、滔々と渦をまいて流れてきている」▼ところで気象学者の倉島厚さんは2月を「光の春」と呼ぶ。本格的な春ではないが、太陽の高度があがり光に春を感じる季節…。この言葉はロシアの言葉の訳のようだが、私は2月の表現に最適と思う▼19日、野党5党が選挙協力で一致。21日、辺野古基地建設に反対し国会包囲2万8千人が集会。同日全国一斉に高校生が反安保デモ…。社会にも明るい光が差し込み始めた。先輩方も喜びの入らう。